



NEWS LETTER

不動産学部・保証人各位

後学期までの学修状況報告に併せて、不動産学部から今後の学修を進める上で重要な情報をお伝えします。なお、このお知らせは保証人様にお送りしています。在学生に対してのお知らせは、担任教員、学修支援システム manaba、不動産学部 HP 等を通じて連絡致しておりますが、保証人様からも一言お伝え頂けると幸いです。

不動産学部長からの ご挨拶



不動産学部長 中城康彦

持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に世界が一致して取り組む中、新型コロナウイルスが猛威をふるって2年になります。日常の生活や健康な身体の持続性は必ずしも保証されないことを実感し、改めて皆で協力して持続可能な社会をつくる大切さを思い知ることとなりました。

大学では感染防止と健康保持に配慮しつつ**持続可能な学生生活**を提供する工夫として、2021年度は対面授業と遠隔授業を交互開催しました。一方で、授業はもとより資格取得やインターンシップ、海外研修や就職活動など、学生間の切磋琢磨や社会に接して刺激を受ける機会が制約さ

れました。様々な局面で学生と保護者の皆様にご不便をおかけしたことに、この場を借りてお詫びいたします。

不動産学部は1992年4月に開設され、人でいえば而立の歳となりました。30年の蓄積の上にこの2年間の経験を加え、新たな気持ちで2022年度の人材育成に取り組みます。パンデミックの収束が不透明な中、始まる新年度は対面授業の予定ですが流動的な部分もあります。学外の状況にかかわらず力を合わせ、学生生活と学修環境の持続可能性を創り出していきたいと思います。

オリエンテーション

新2年生：3月29日(火)

新3年生：3月25日(金)

新4年生：3月28日(月)

履修登録・履修相談期間

3月29日(火)～4月1日(金)

保証人の皆様との コミュニケーション

不動産学部では、保証人の皆様とのコミュニケーションの機会を大事にしています。

●保証人向けオリエンテーション

4月1日(金)に、在校生保証人のためのオリエンテーションを予定しています。詳細は不動産学部 HP からお知らせいたします。

●教育講演会主催の教育懇談会

浦安キャンパス、札幌から那覇の各地で教育懇談会を開催し個別面談を実施しています。

●学部長からのお手紙

学修の節目に、学部長からお手紙をお送りする場合があります。届いた際はよくお読みいただき学業やキャンパス生活の状況をご理解下さい。

不動産学卒業演習のあらたな取り組み

不動産学卒業演習は4年次の通年必修科目であり、不動産学部の学修成果の総仕上げの科目に位置付けられます。不動産学の広範な学修領域をふまえて、2021年度は、レポート作成課題、重要事項説明に関する課題、住宅ローンと税の課題、間取り図に関する課題の全ての課題に全員が取り組む形式になりました。ほぼ毎週にわたりアウトプットが求められる演習ですが、これをとおして理解を深め、実社会で求められる対応力を身に付けてもらうことを期待しています。



間取り図作成課題の受講風景

○次年度受講生の方へ

この授業は全教員が担当しています。4年間の学修を各自振り返り、理解不足の点については教員のオフィスアワー等を利用して問い合わせいただくことを教員一同お待ちしております。また、履修条件をいくつか定めていますのでシラバスでご確認ください。この内のひとつに関係する、令和3年度までに宅建士試験に合格していない学生を対象とした学内試験は、4月5日(火) 18:00-20:00(教室：3/28新4年生オリエンテーションで案内予定)に行います。



宅地建物取引士試験に合格するために

■宅建試験の難易度が上がっています

保証人の皆様も既にご存知のことと思いますが、不動産学部では、遅くとも2年生までに宅建士試験に合格することを目標としています。①宅建士試験の勉強は不動産学の専門的な内容を学ぶ上での基礎になる、②合格者は就活で有利になる、というのがその理由です。

しかし、宅建試験の難易度は上がっています。確実な知識が求められる、難しい試験です。でもだからこそ、価値があると言えます。難易度の高い試験に合格ですることこそ、企業側からも評価され、学生も自信を持つことができるのです。

■万全な支援体制を用意しています

宅建未合格の2年生には不動産演習Cという講義が用意されています(3年生への進級要件にもなっています)。講義はかなり早いペースで進みますが、予習して講義に臨み、復習として指定された問題集を解くことで合格に必要な力を確実につけることができます。

3,4年生には、学部講義はありませんが、オープンカレッジや、夏季特別講座など、学生が自分の弱点を補強する手段をたくさん用意しています。しっかり活用すれば必ずや在学中に合格できるはずです。

■合格を勝ち取るために

入学段階ではほとんどの学生が「宅建試験に合格したい」と言います。しかし残念ながら1年間の勉強で、その難しさを知るとあきらめてしまう学生も少なくありません。

コロナ禍にもかかわらず令和3年度試験では60名超の明海生が宅建本試験に合格しました。テキストをしっかりと読んで理解する(丸暗記では応用問題に対応できません)。問題演習を繰り返す。模擬試験を受けて復習する。基本を守ることで必ず合格できます。

一人でも多くの学生を合格に導くべく、我々教員一同も全力を尽くします。保証人様からも、初志貫徹の精神で勉学に取り組むべく、学生を励まして頂ければ幸いです。

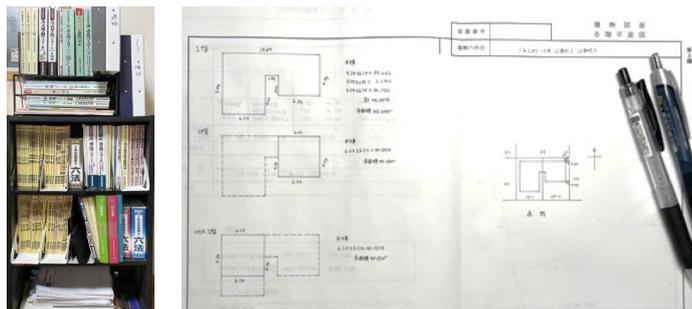
宅建士の次のチャレンジ

■土地家屋調査士試験・筆記試験に合格した4年生からメッセージをいただきました!



先日、土地家屋調査士試験の口述試験を受験した古舘陸です。大学と並行して予備校にも通っていたので大変でしたが無事に筆記試験に合格することができてホッとしています。私はこれから調査士の業務について深く学びながら司法書士にもチャレンジしたいと思っています。

資格試験合格は一例ですがみなさんも夢や目標に向かってにどんどんチャレンジして行って欲しいと思います。大学生の間になりたい自分を思い描き逆算し行動レベルに落とし込むことで今やるべきことが明確になっていきます。人生一度きりです。平凡な毎日を過ごすのではなく挑戦し続けましょう!



土地家屋調査士は、不動産の表示に関する登記につき必要な土地又は家屋に関する調査及び測量を行う専門家です。その資格試験(筆記試験と口述試験の二段階試験)の合格率は9%前後です。不動産学部には関連する座学・演習授業や土地家屋調査士事務所での不動産学部主催インターンの機会が設けられています。

就職関係のお知らせ

就職支援委員会では、例年インターンシップ派遣(春季と夏季の2回:主に1,2年生対象)、就職合同ゼミの開催(春、夏、冬に各1回)、合同企業説明会(不動産学部主催)、不動産学部学生向け就職ガイドブックの配布(11月に配布:3年生対象)を実施しています。さらに、(株)LIXILリアルティとの連携により最新の業界情報を得られるよう努



めています。また、キャリアサポートセンターと連携し、専門的知見を持つ「就活コーチ」による個別指導も実施され好評を得ています。学部同窓

会(緑風会)も就職支援を積極的にバックアップしています。なお、宅建試験に合格している学生の内定率はほぼ100%で、3年生までの間に宅建を取得することは内定獲得に大変有利に働きます。就職支援担当教員も、一人でも多くの内定獲得に貢献できるよう、最大限の対応を行っています。引き続きご協力の程宜しくお願いいたします。写真は、11月30日に開催された学部主催の就活セミナーの様子です。

○新4年生の保護者の方へ

不動産業界の就活は、今がヤマ場です。大学主催の企業合同説明会等の行事に積極的に参加するよう学生にご指導下さい。4,5月時点で内定獲得が難しい状況であれば、不動産学部の就職支援担当教員に遠慮なく相談するようご指導下さい。また、保護者様からのご相談も歓迎します。就職支援担当教員:藤木亮介、山本卓